



色や絵の具で表現できる

絵に魅せられました

profile

昭和20年11月17日生まれ。趣味はクラシック音楽。50代ではピアノを独学で、60代にはヴァイオリンも習っていた。清水在住。74歳。

Spotlight

スポットライト



伊達市大町ミニギャラリーに絵画を展示

安住俊雄さん

「絵は、色や絵の具を使って自分の思いや人生を表現できるのが素晴らしい。今は絵に夢中で、色々なものを描いてみたい」

絵についての魅力を語るのは2月8日から16日まで伊達市の大町ギャラリーで絵画展を開いた、安住俊雄さん。

今回の展示は通っているCOCORO絵画教室の先生から出展の助言があり、実現しました。「最初は自分の作品を出展してもいいのかわ

安でしたが、いろいろな人に見てもらい、好評だったので嬉しいですね。今後の活動の活カにしていきたい」と出展の喜びと今後の活動の意気込みを語ります。

安住さんは伊達市の出身で、大学を卒業後、神戸市の会社に就職。結婚などを機に昭和53年から洞爺湖町に住み始め、69歳まで46年間仕事を

仕事を辞めた後、新聞の広告に絵画教室の会員募集の記

事を見つけ、絵画教室に通うことを決めました。「小学生の時、授業で描いた絵を廊下の一番端に掲示された苦しい思い出がある。いつか絵を習って、うまい絵を描きたいと思っていた」と60改め70の手習いで絵を始めた動機を語ります。

習い始めた当初は先生の指導の下うまく絵を描けるかわ安だったと言います。それでも、色や絵の具の表現に魅せられ、油絵コースを選択。始めのころは夢中になり、教室が終えてからも家で4〜5時間描いていました。

教室に通って約3年経った今では、油絵34点とデッサン4点の作品を生み出しています。

「絵に夢中で、絵を描くことが生きがいとなっている。生活を豊かにしてくれる」と楽しそうに話します。

「これからは、自らテーマを決めて足を運び、もっと大きなキャンパスに描くことに挑戦していきたい」と目を光らせます。

東奔西走

4月から洞爺湖町役場職員2年目に入りました。さまざまな人との出会いがあり、支えられてきました。その人たちへの感謝を忘れずに、新たな出会いを楽しみたいです。(C.K)
2年前に定年を迎え、その後再任用となり、広報作成に継続して携わってきましたが、この4月号が本当に最後の広報となりました。取材や写真撮影などご協力いただいた町民の皆さんには、深く感謝します。ありがとうございました。(H.O)

今月のワンショット



ふれ合う心の文化広場でステージ演奏する虻田吹奏楽団